

表 3 令和 8 年度 児童生徒学習意識等調査 小学校 学校質問調査 回答一覧

【1 教育活動全般に関する調査】

番号	内容		当てはまる			当てはまらない		
			よく	やや	計	計	あまり	全く
(1)	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について、回答してください。							
	①	児童一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供した。【個別最適な学び（学習の個性化）】	35.9	61.1	97.0	2.9	2.7	0.2
	②	児童一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の指導の工夫を行った。【個別最適な学び（指導の個別化）】	32.3	63.0	95.3	4.8	4.8	0.0
	③	児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように指導の工夫を行った。【協働的な学び】	56.1	42.5	98.6	1.4	1.4	0.0
	④	同一学年・学級の児童同士の学び合いだけでなく、異学年間の学びや他の学校の児童生徒との学び合い、地域の方々や多様な専門家と協働する機会を提供した。【協働的な学び】	46.4	46.1	92.5	7.5	7.3	0.2
	⑤	「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に生かす授業づくりを行った。	16.4	68.6	85.0	15.0	14.8	0.2
	⑥	児童一人一人が、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組むことができるよう指導した。	41.1	55.5	96.6	3.4	3.4	0.0
(2)	授業において、問題解決的な学習を積極的に取り入れた。		43.0	54.5	97.5	2.5	2.5	0.0
(3)	各教科等において、教員は、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいる。		全ての教員が授業改善に取り組んでいる					53.4
			8割以上の教員が授業改善に取り組んでいる					37.3
			5割以上8割未満の教員が授業改善に取り組んでいる					9.3
			2割以上5割未満の教員が授業改善に取り組んでいる					0.0
			2割未満の教員が授業改善に取り組んでいる					0.0
			※ R5より質問項目及び選択肢の一部を変更している。					
(4)	学力に課題のある児童の学習のつまずきを把握・分析し、その状況に応じた手立てを基にした支援に取り組んでいる。		54.3	44.8	99.1	0.9	0.9	0.0
(5)	広島県教育委員会では、各学校において小学校低学年段階からの学習の支援を進めるため、「広島県学びの基盤に関する調査」を開発しました。この調査の活用状況について、回答してください。							
	①	今年度（令和8年度）、第2学年の児童を対象に、「広島県学びの基盤に関する調査」を活用している（または、活用する予定である。）。	第2学年の児童全員を対象に実施し、全ての設問を活用している（または、活用する予定である。）					27.3
			第2学年の児童全員を対象に実施し、一部の設問を活用している（または、活用する予定である。）					29.7
			第2学年の一部の児童を対象に実施し、全ての設問を活用している（または、活用する予定である。）					1.7
			第2学年の一部の児童を対象に実施し、一部の設問を活用している（または、活用する予定である。）					10.7
			活用していない（または、活用する予定はない。）					30.7
	②	今年度（令和8年度）、第2学年以外の児童を対象に、「広島県学びの基盤に関する調査」を活用している（または、活用する予定である。）。	他学年で活用している（または、活用する予定である。）					41.7
活用していない（または、活用する予定はない。）					58.3			
(6)	若手教職員に対して、校内における日常の業務を通じて必要な知識や技能、態度等を身に付けさせるよう、計画的、継続的な取組を行っている。		58.4	39.8	98.2	1.8	1.8	0.0

R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
97.3	94.4	－	－	－
95.5	91.7	－	－	－
98.9	98.7	－	－	－
91.4	88.3	－	－	－
84.2	79.6	－	－	－
93.7	94.4	－	－	－
98.2	97.8	96.7	96.2	95.2
54.9	56.5	55.1	43.9	45.5
32.7	32.3	34.7		
11.7	11.0	9.5	51.9	48.4
0.7	0.2	0.4	4.2	5.7
0.0	0.0	0.2	0.0	0.4
99.3	97.8	97.8	98.4	－
28.9	30.3	35.3	－	－
38.5	37.1	33.0	－	－
2.3	0.3	1.0	－	－
9.5	10.4	8.3	－	－
20.7	21.8	22.4	－	－
57.9	57.0	56.4	－	－
42.1	43.0	43.6	－	－
98.2	99.1	－	－	－

番号	内容		当てはまる			当てはまらない		
			よく	やや	計	計	あまり	全く
(7)	昨年度の校内研修について、回答してください。							
	①	個別最適な学びを実現するための指導の在り方に関する研修を行った。	47.7	43.2	90.9	9.1	8.9	0.2
	②	不登校児童生徒に対する支援の在り方に関する研修を行った。	43.6	42.7	86.3	13.6	12.0	1.6
	③	全国学力・学習状況調査などにおける自校のデータを分析・考察する研修を行った。	84.3	13.9	98.2	1.8	1.6	0.2
	④	国が示した「学習評価の在り方ハンドブック」や「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」を活用した学習評価の研修を行った。	21.6	48.2	69.8	30.2	26.1	4.1
(8)	学習指導要領（平成29年告示）の改訂の趣旨や内容を教員が理解している。		全ての教員がそれぞれの実際の業務に反映させている					31.1
			全ての教員が理解した内容を説明できる					13.9
			全ての教員が理解している					50.2
			一部の教員は理解している（2割以上5割未満の教員が理解している。）					4.8
(9)	学校教育目標の実現に向けてカリキュラム・マネジメントの視点から進捗状況を計画的に点検し、課題を明らかにしてその原因を究明するとともに、改善に向けた取組を全ての教職員で共有している。		全ての教員で共有している					53.2
			8割以上の教員で共有している					29.5
			5割以上8割未満の教員で共有している					15.7
			2割以上5割未満の教員で共有している					1.1
			2割未満の教員で共有している					0.5
			※ R5より質問項目及び選択肢の一部を変更している。					
(10)	教科等の学習や行事をはじめ、学校での業務の充実に向けて内外リソース（学校内外の資源）を活用している。		内外リソースを計画的に活用している					76.1
			内外リソースを校内で共有している					15.2
			内外リソースを把握している					7.0
			内外リソースを把握しきれていない					1.6
(11)	キャリア教育を通して身に付けさせたい力について、卒業時点までできるようになってほしいこと（「○○のような場面で△△することができる。」など）を、具体的な資質・能力として設定している。		42.7	46.8	89.5	10.5	9.8	0.7
(12)	「社会に開かれた教育課程」の視点を踏まえ、キャリア教育において教科の学びが世の中とつながっていることを児童が実感できるよう、外部人材の活用など地域・社会や産業界等と連携・協力した取組を行っている。		連携・協力した取組について前年度の内容等を評価・改善した上で、年間指導計画等に位置付けて行っている					54.1
			連携・協力した取組を年間指導計画に位置付けて行っている					35.9
			連携・協力した取組を行っている					9.5
			連携・協力した取組を行っていない					0.5
(13)	児童が、自分の好きなことや興味をもっていることについて気付くことができるよう指導した。		49.3	50.2	99.5	0.5	0.5	0.0
(14)	児童が、自分の夢や目標、将来やりたいことなどについて決める時、自分で考え、選び、決めることができるよう指導した。		50.9	48.0	98.9	1.1	1.1	0.0
(15)	自分のことなどを、相手に理解してもらえるように、工夫しながら伝えることができるよう指導した。		50.5	48.9	99.4	0.7	0.7	0.0
(16)	児童が、先生や友達に心を開いて何でも話すことができるような、安心・安全な環境づくりを進めた。		74.5	25.2	99.7	0.2	0.2	0.0
(17)	児童の情報活用能力を育成できるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成の工夫を行った。		37.0	57.3	94.3	5.7	5.7	0.0
(18)	各教科等のねらいを達成するために、授業において、言語活動の充実を図った。		47.7	50.7	98.4	1.6	1.6	0.0

R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
89.6	89.5	86.9	－	－
88.5	89.5	84.5	－	－
98.2	96.6	95.8	97.6	－
74.3	72.4	72.1	79.0	80.6
26.6	29.1	30.8	28.8	35.9
11.7	7.8	12.4	14.4	17.0
55.3	57.8	50.7	53.7	44.7
6.3	5.2	6.2	3.1	2.4
50.8	51.6	49.3	43.2	44.4
33.6	31.4	27.7		
14.4	13.7	19.9	47.9	46.4
1.1	2.2	2.7	8.6	8.9
0.0	1.1	0.4	0.2	0.2
71.3	72.9	66.4	55.7	58.4
20.3	16.4	21.2	29.5	29.6
6.3	7.6	8.6	12.2	10.7
2.0	3.1	3.8	2.7	1.3
89.6	88.1	82.7	82.4	80.0
52.1	－	－	－	－
36.1	－	－	－	－
11.3	－	－	－	－
0.5	－	－	－	－
98.9	98.9	－	－	－
98.0	98.2	－	－	－
98.4	98.9	－	－	－
99.8	99.8	－	－	－
94.1	93.9	93.4	92.2	88.5
98.9	98.4	99.3	98.0	97.6

番号	内容		当てはまる			当てはまらない		
			よく	やや	計	計	あまり	全く
(19)	様々な本や新聞、資料（図、グラフ、表を含む。）を基に自分の考えをもたせる指導をした。		36.4	60.9	97.3	2.7	2.7	0.0
(20)	特別支援教育コーディネーターが中心となり、学校全体で特別支援教育の推進に取り組んでいる。		70.0	28.9	98.9	1.1	0.9	0.2
(21)	通常の学級において、特別支援教育の視点を踏まえた授業改善に取り組んでいる。		53.4	44.3	97.7	2.2	2.0	0.2
(22)	幼保小の接続を見通した教育課程（スタートカリキュラム）について児童の実態に即して改善に取り組んでいる。		園・所等と協働して改善に取り組んでいる					79.1
			校内で改善に取り組んでいる					18.4
			今年度改善に取り組む予定である					2.0
			改善には取り組んでいない					0.5
(23)	第1学年の日々の授業において、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、子供が主体的に自己発揮できるよう、環境の構成や関わり方等の工夫ができています。		56.6	43.0	99.6	0.5	0.5	0.0
(24)	幼保小の円滑な接続を図るため、今年度(令和8年度)に、職員等が園・所(どこか1施設以上)へ訪問し、子供の育ちを参観したり、園・所の先生と協議したりする場を設けている。		複数回設けた					76.6
			1回設けた					21.8
			設けていない					1.6
(25)	読書習慣を身に付けさせるための指導について、回答してください。							
	①	全校一斉読書を実施している。	毎日					20.5
			週に複数回、定期的					44.1
			週に1回、定期的					20.5
			月に数回程度、定期的					4.1
			不定期に実施					5.2
			実施していない					5.7
	②	学校外の読書感想文、小論文等コンクール（本や資料を活用した作品コンクールに限る。）へ応募したり、校内で同様のコンクールや読書会等を開催したりしている。	全校で取り組んでいる					33.4
			一部の学年で取り組んでいる					33.9
			一部の学級で取り組んでいる					5.5
			1～3以外の取組を行っている					16.8
			取り組んでいない					10.5
	③	年間指導計画に基づいて、評価・改善しながら、教科等のねらいを踏まえ、読書活動を推進している。	41.1	52.3	93.4	6.6	6.4	0.2
	④	校内で、発達段階や実態に応じた本に親しませるため、次の取組を行っている（当てはまるものを全て選んでください。【複数選択可】）。	読み聞かせ					96.8
			児童同士で本を紹介し合う活動					64.8
			読書の記録					60.7
			ビブリオバトル					9.1
			推薦図書リストの作成・紹介					60.5
			1～5以外の取組を行っている					16.6
			実施していない					0.2
	⑤	「子ども読書の日」（4月23日）に関する取組を実施した。	4月23日に実施した					19.8
			4月23日ではないが、前後1週間の中で実施した					38.9
			4月23日の前後1週間の中で実施していないが、前後1か月の中で実施した					15.7
			実施しなかった					25.7

R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
95.5	95.3	96.0	96.3	97.6
98.2	98.2	97.8	－	－
98.0	98.4	96.7	－	－
75.6	69.7	－	－	－
20.5	24.9	－	－	－
2.5	4.5	－	－	－
1.4	0.9	－	－	－
98.9	97.3	－	－	－
78.1	77.1	－	－	－
19.2	19.1	－	－	－
2.7	3.8	－	－	－

16.7	21.7	25.2	26.6	28.8
44.0	40.4	40.9	41.2	41.8
19.2	19.5	18.1	15.1	15.5
6.8	4.0	3.1	4.9	2.2
4.7	5.2	5.5	6.0	4.1
8.6	9.2	7.1	6.2	7.6
34.3	38.8	43.1	44.8	42.5
35.4	30.7	28.5	28.6	27.5
5.4	3.8	4.9	4.7	4.4
16.7	15.2	13.9	15.3	13.9
8.1	11.4	9.5	6.7	11.8
92.8	91.5	－	－	－
96.4	96.9	－	－	－
68.8	71.5	－	－	－
63.2	62.6	－	－	－
7.9	7.4	－	－	－
57.1	62.6	－	－	－
11.7	11.9	－	－	－
0.0	0.2	－	－	－
21.0	20.6	13.9	13.3	28.8
34.1	38.3	42.9	43.7	28.1
16.3	15.9	17.5	16.4	16.6
28.7	25.1	25.7	26.6	26.6

番号	内容		当てはまる			当てはまらない			R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	
			よく	やや	計	計	あまり	全く						
(25)	⑥	学校図書館資料の適切な廃棄・更新に努めている。	76.6	23.0	99.6	0.5	0.5	0.0	99.3	99.1	98.5	98.2	96.8	
	⑦	学校図書館等（公立図書館等との連携を含む。）に、次の本や資料を整備している（当てはまるものを全て選んでください。【複数選択可】）。	大活字本						26.8	27.5	26.5	－	－	－
			点字図書						22.0	22.6	20.6	－	－	－
			ＬＬブック						20.2	21.2	17.3	－	－	－
			ＤＡＩＳＹ						8.0	7.9	4.9	－	－	－
			電子書籍						17.5	15.8	14.1	－	－	－
			外国語資料						41.6	46.3	46.6	－	－	－
			整備していない						33.2	29.1	30.5	－	－	－
	⑧	公立図書館等と次の連携を行っている（当てはまるものを全て選んでください。【複数選択可】）。	公立図書館司書による読書指導						13.9	19.2	20.0	－	－	－
			公立図書館司書による学校図書館運営への助言						13.0	15.1	15.2	－	－	－
			団体貸出の利活用						58.9	66.6	66.1	－	－	－
			移動図書館の利活用						14.5	15.6	16.4	－	－	－
			一人１台端末を活用した公立の電子図書館サービスの利用						26.8	25.7	25.8	－	－	－
			連携を行っていない						21.1	17.2	17.7	－	－	－
	⑨	電子書籍等を活用させるために、児童に公立図書館等のＩＤやパスワードを付与している。	全校児童に付与している						31.1	26.4	－	－	－	－
			一部の児童に付与している						4.8	7.4	－	－	－	－
			今後、全校児童に付与する予定である						6.1	7.0	－	－	－	－
			今後、一部の児童に付与する予定である						2.3	3.4	－	－	－	－
			今後、児童に付与する予定はない						55.7	55.8	－	－	－	－
	⑩	地域のボランティアや保護者等が、図書の貸出や整備、読み聞かせ等、児童の読書活動推進に係る取組に関わっている。	79.8	10.7	90.5	9.6	3.9	5.7	88.7	90.6	－	－	－	

【2 デジタル機器を活用するスキル等に関する調査】

番号	内容							R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	
(1)	令和８年度（令和８年６月９日時点）において、学校全体で、授業を担当している教員（会計年度任用職員を含む。）は何人ですか。人数を記入してください。						8,063	人	8,307	8,095	8,133	7,887	－
(2)	(１)の教員で、「ステップ０」～「ステップ３」の段階の教員はそれぞれ何人ですか。人数を記入してください。		ステップ０	デジタル機器を授業で活用することができない。				0.7	0.9	1.0	1.1	2.1	－
			ステップ１	デジタル機器を授業の振り返り、教材の配信、連絡などに活用することができる。				29.6	28.4	32.2	33.1	42.2	－
			ステップ２	ステップ１のスキル等を身に付けた上で、デジタル機器を協働学習の場面で活用することができる。				38.6	39.8	38.1	34.7	33.9	－
			ステップ３	ステップ１及び２のスキル等を身に付けた上で、デジタル機器を授業の内容を深めるために活用することができる。				31.1	31.0	28.7	31.1	21.8	－
番号	内容		当てはまる			当てはまらない							
			よく	やや	計	計	あまり	全く	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
(3)	情報活用能力を身に付けさせるための指導について、回答してください。												
	①	文字入力、電子ファイルの呼び出しや保存などのコンピュータの基本的な操作を児童が身に付けることができるように指導した。	68.0	30.5	98.5	1.6	1.1	0.5	98.0	97.8	－	－	－
	②	児童がＰＣ・タブレットを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導した。	68.9	30.9	99.8	0.2	0.2	0.0	99.5	99.3	－	－	－
	③	児童がＰＣ・タブレットを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導した。	42.7	53.9	96.6	3.4	3.4	0.0	96.8	96.0	－	－	－
	④	児童がお互いの考えを交換し共有して話し合いなどをする時に、ＰＣ・タブレットを活用することができるように指導した。	45.9	50.0	95.9	4.1	4.1	0.0	94.8	95.5	－	－	－

※(5)①②の集計には広島市教育委員会所管学校は含まれていない。

【3 特定分野に特異な才能のある児童に関する調査】

特異な才能のある児童が在籍する学校数		18 校	
番号	内容		
(1)	特異な才能のある児童が在籍している場合、どの領域に児童がいるか回答してください。 ※ 一つの領域に複数の児童がいる、又は一名で複数領域に該当する場合、当てはまる領域全てを選択してください。 (例：Aさんが数理、Bさんが数理と科学に該当する場合、数理、化学の2つを選択してください。)		
	領域	特異な才能のある児童生徒の表出例	
	数理	小学生や中学生で、高校や大学レベルの数学を独学で学ぶ。高校や大学初学レベルの統計検定3級も合格。プログラミングや科学的知識も中学生、高校生レベルに至る。	5 校
	言語	第二外国語を学んでも早い段階で帰国子女レベルに覚える。	6 校
	科学	小学校低学年で大学の研究施設で研究を行い新発見のデータを提出した。今後、地域の学会や博物館の子供学会で発表予定。	1 校
	政治	小学生から明治時代以降の近現代史・政治に強い関心を示し、書籍・新聞等で学習、情報収集を行う。中学生から外交問題や安全保障に強い関心を示しはじめ、講演会への参加や、国内外メディアからの情報を収集。	1 校
	音楽	ピアノで色々な和音を出して「コード」を自分で見つける。聞いた音楽を耳コピできる。	5 校
	記憶力	就学前段階で九九や周期表を暗記、円周率を110桁暗唱、 $\sqrt{2}$ (1.41421356…) 50桁暗唱していた。	6 校
	集中力	興味のあることにはとても集中力があり、ひとつのことに何時間も没頭することがある。	5 校
	※(1)の集計は学校が回答した領域を合計しているため、特異な才能のある児童が在籍する学校数と異なります。		
(2)	(1)で回答した特異な才能のある全ての児童の学年と人数を回答してください。【複数選択可】		
	学年	合計	
	第1学年	7 人	
	第2学年	6 人	
	第3学年	5 人	
	第4学年	7 人	
	第5学年	9 人	
	第6学年	12 人	
	全学年合計	46 人	
(3)	(1)で回答した特異な才能のある児童の実態に応じた対応や工夫について行っていることを回答してください。【複数選択可】		
	特性を把握するため、行動の観察及び記録の分析をしたり、保護者や本人、関係者からの聞き取りをしたりするなど、実態把握をしている。	13 校	
	学ぶペースや場所、順番、教材等を児童に任せ、児童自身が自分に合った学習計画を立てて学ぶことができるようにしている。	0 校	
	各教科等において単元の中に創造的に取り組める課題を設定したり、自分の興味・関心に応じて行う探究活動を設定したりしている。	3 校	
	授業の終末部に行う練習問題において、時間を持て余してしまうことのないよう、発展的な課題を用意している。	7 校	
	興味・関心に応じた情報にすぐにアクセスできるよう、学校図書館やデジタル学習基盤の活用等の環境を充実させている。	1 校	
	強みが生かせる係活動や委員会活動、クラブ活動への促しを通した、興味・関心が似ている仲間と交流できる機会を提供している。	7 校	
	学習上の困難さに対して、タブレット型端末の読み上げ機能の活用やキーボード入力を認めること等の個別の配慮を行っている。	1 校	
	興味・関心事項に係る資料等や課題を個別に提供している。	4 校	
	校外の様々な機関が提供するプログラム等の情報提供を行っている。	1 校	
※(3)の集計は学校が回答した対応や工夫について合計しているため、特異な才能のある児童が在籍する学校数と異なります。			